

桶川市立日出谷小学校の校章と校木

1. 校章について

公募に応じてくださった22図案作品を県教育局北部教育事務所の高橋薫氏にお願いしこれらの作品を基にして高橋氏が新たに考案した数点の中から選んで決めました。

【形体】円形を基本の型として校木「椎の木」の葉を図案化し三葉一体にしたものです。これは ささえあう 円満 思考 思いやり 仲良し 調和 信頼等を意図しています。

【校名】漢字で中央やや下に配してバランスをとりゴシック体で表記しましたのは、たくましさ、元気のよさ、頑張り、健全な心身を意図したものです。全体的には、教育理念（知・徳・体）学年構成（低・中・高）の一本化をあらわし、また一つの心に結ばれる児童、教師、保護者の姿としての日出谷小学校のシンボルでもあります。

2. 校木「^{しいのき}椎の木」について

【いのちの木】

日出谷地区は埋蔵文化財の宝庫といわれ、日出谷小学校の校地内からも旧石器時代の石器や縄文期の住居址が確認されています。これら太古の人々が食した食物の中に椎の実が当然考えられる木の実とされています。とすると椎の木はここに住んだ人々の生命を支えてきた木とも言えるわけです。これが校木に選んだ大きな理由の一つです。

校歌には“椎の木 実がなる いのちの木”と歌われています。

【優しく たくましく 長寿の木】

校木は子どもたちに好かれる木でなければなりません。椎の木は大きな緑陰をつくります。そして憩いを求める子どもたちを優しく抱えこんでくれるでしょうし、実をつける秋には樹下に子ども達を必ず呼び寄せる筈です。

校木はまた学校のシンボルとしての役割を果たさねばなりません。椎の木は大樹・長寿の木としてもさらには趣のある木としても風格があります。ここに学ぶ子ども達や学校の歴史を後々まで見守ってくれるでしょう。

椎（シイ）

暖地にはえる常緑高木。福島県と佐渡以西九州まで分布する。高さ20M以上の大木となる。葉は互生し、楕円形で先がとがり質が厚い。5月～6月花が咲き実がなる。実は堅果で渋味なく生食できる。